

新型コロナウイルス感染から 市民のいのちを守る取り組みを！

民報
おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢字久田 62
Tel 24-2021
Fax 24-2049

4月1日に奥州市議会議員全員協議会が開催され、日本共産党市議団は、新型コロナウイルス感染症対策について市民のいのちを守る立場から、市当局に質しました。

**新型コロナウイルス感染
症ワクチン接種後の副反応
等市民の実態は…**

菅原明議員は、新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応の実態について質問し、「これまで元気に通学していた高校生が、接種後体調が悪くなり、現在車いすでの生活を余儀なくされている実態があるが、市民からは体調に関する相談が当局に寄せられているか」と質問。

**(ワクチン接種の)副反応で
入院された例は7件**

これに対し、担当の保健師長は「これまで入院された例が7件ある。市は相談を受け、調査委員会を経て、副反応と認定されたものは県を通して国へ報告しており、その後、国から明確になったものが2件、他は現在国で調査中である。副反応で苦しんでいる方には「相談に対応したい」と述べました。

**胆江管内の自宅療養者は
県内の約10%**

千葉敦議員は、岩手県内では自宅療養者が3000人を超えているが、市内の現状と市の対応について質しました。

担当課長は、「2月下旬より、毎日午後の勤務時間に保健師2名を奥州保健所に派遣して、自宅療養者対応の応援をしている。保健所では、胆江管内の自宅療養者は把握しているが、市には知らされていない。目安として、県の人数の10%と推定して差し支えない。」と述べました。



**看護師確保のためにも
根本的な処遇改善が必要
では…**

また、千葉議員はこの間コロナ対応で頑張っている市立医療機関の看護師の処遇改善

について質しました。

医療局の担当部長は、「国及び県の補助金も活用して、水沢病院においてワクチン接種あるいは患者対応に対する危険手当という形で支給している。他の診療所、病院についても特殊勤務、時間外手当として対応している。」と述べました。



PCR検査等の現状は…

瀬川貞清議員は、コロナウイルス感染症の検査体制について質問し、PCR検査と抗原検査キットの配布状況等について質しました。

**無料のPCR検査は
市内7店舗で可能に**

これに対し、当局はPCR検査について、県事業で無料の検査が市内では7店舗で対応。4月末まで検査が可能だと答えました。

また抗原検査キットについては、障がい者施設や老人施設、放課後児童クラブ、幼稚園、保育所等に配布している。使用割合は50%弱。使用期限の早いものから使用するよう周知したい、と答えました。

「国連憲章を守れ」の国際世論で ロシアを包囲し、侵略をやめさせよう！

東日本大震災復興特別委員会の 視察で福島へ



日本共産党
参議院議員
いわぶち友

4月18日



この国会で審議する予定の法案に関わる視察で、紙智子さんと参加。

視察先は、楡葉町にある日本原子力研究開発機構の遠隔技術開発センターでは燃料デブリ取り出しのアーム、浪江町の水素エネルギー研究フィールド、南相馬市のロボットテストフィールド。

最後に県庁で福島イノベーションコースと構想についてうかがいました。

毎週恒例の朝宣伝は、19日も銀座飯店前で行われました。8人が参加し、「ロシアはウクライナから直ちに撤退を」「戦争か平和か、日本の進路が決まる参院選で日本共産党を躍進させてください」と訴えました。

若い男性が車中から手を振ってくれるなど多くの反応があり、街頭からの訴えを継続していくことが大切だと感じました。

(美雪 記)

